

平成30年度第1回大和市地域包括支援センター運営協議会 及び 平成30年度第1回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会 議事録

日 時 平成30年5月31日（木） 15時10分から16時30分
場 所 大和市保健福祉センター1階保健指導室・検診室
出席者 委員 8名、事務局 13名
内 容

■第1回大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開 会
2. 内 容
 - 1) 委嘱式
 - (1) 委嘱状交付
 - (2) 会長・職務代理の選出
 - 2) 報告
 - ・地域包括支援センター配置職員の異動状況について
 - 2) 議事
 - (1) 平成29年度事業実績報告及び収支決算について
 - (2) 平成30年度事業計画及び収支予算について
 - (3) 介護予防支援の委託について
3. その他
 - ・第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について
 - ・その他
4. 閉 会

配布資料

資料1	平成29年度収支決算
資料1（補足）	収支決算（平成28年度と平成29年度の比較）
資料1－2	平成29年度事業実績報告及び収支決算について
資料2	平成30年度収支予算
資料2－2	平成30年度事業計画及び収支予算について
資料3	平成30年度地域包括支援センター委託状況について（報告）
資料4	介護予防支援の委託について
補足資料	地域包括支援センター担当地区別高齢化率統計表

■第1回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会

1. 開 会
2. 内 容
 - ・平成 30 年度大和市認知症初期集中支援推進事業について
 - ・平成 30 年度 認知症初期集中支援チーム活動計画について
 - ・その他
3. 閉 会

配布資料

- 資料 1 - 1 大和市認知症初期集中支援推進事業実施要領
- 資料 1 - 2 大和市認知症初期集中支援チームの流れとチーム員会議イメージ図
- 資料 2 平成 30 年度大和市認知症初期集中支援チーム活動計画

■第 1 回大和市地域包括支援センター運営協議会

1. 開 会

- ・事務局挨拶
- ・大和市地域包括支援センター運営協議会規則（以下「規則」という）第 6 条第 2 項の規定に基づき、出席者が過半数に達しているため会議成立の旨を報告
- ・委員改選後、第 1 回会議のため各委員の自己紹介
- ・事務局員の挨拶

2. 内 容

1) 委嘱式

(1) 委嘱状交付

- ・卓上配布により、委嘱状を交付（任期は平成 32 年 3 月 31 日まで）

(2) 会長・職務代理の選出

- ・委員の互選により、田中委員が会長に選任される。
- ・会長の指名により、杉浦委員が職務代理に選出される。
- ・会長挨拶
- ・会長司会により、次第に沿って進行

2) 報 告

・地域包括支援センター配置職員の異動状況について

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> なし

報告事項について、委員全員一致により了承とする

3) 議 事

(1) 平成29年度事業実績報告及び収支決算について

(2) 平成30年度事業計画及び収支予算について

以上の(1)(2)については関連する内容のため、事務局より一括して説明を行なった。

<質疑応答>

委 員：資料2の介護予防サポーター講座の参加人数の報告において、桜丘・和田地域包括支援センターが延数・実数ともに120となっているが、実数は120で正しいのか。

事務局：各包括から提出された計画に基づいて資料を作成しているが、恐らく正しい実数は20だと思う。これに伴い合計実数は218になると考えられるが、もう一度精査して次回以降訂正させていただきたい。

議題(1)(2)については、委員全員一致により承認とする

(3) 介護予防支援の委託について

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答> なし

議題(3)については、委員全員一致により承認とする

2. その他

・第7期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画について

○資料に基づき事務局より説明

<質疑応答>

委員：NHKで大和市長が70歳代を高齢者と言わない宣言をしたと聞いたが、資料に記載されている高齢者という言葉と関係性はないのか。

事務局：「60歳代を高齢者と言わない」宣言を経て、4月11日に「70歳代を高齢者と言わない都市 やまと」宣言をしたが、この宣言は生き生きと暮らしていくための意識や認識を示したものである。そのため、65歳以上の介護認定を受けた対象者や法令、社会保障制度に関して変更はない。

報告事項について、委員全員一致により了承とする

・その他

- ・次回開催は、大和市地域包括支援センター運営協議会は7月19日（木）午後を予定しており、決定次第通知する。
- ・議事録については、議事録案を作成し各委員に確認していただいた後に、市のホームページに掲載する。

4. 閉 会

- ・会長より閉会挨拶

■第1回大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会

1. 開 会

- ・事務局挨拶
- ・大和市認知症初期集中支援推進事業実施要領 第5条第2項に基づき、認知症初期集中支援チーム検討委員会の会長、職務代理、委員については、大和市地域包括支援センター運営協議会の会長、職務代理、委員をもって充てるものとする旨を報告
- ・会長挨拶
- ・会長司会により、次第に沿って進行

(1) 大和市認知症初期集中支援推進事業について

(2) 認知症初期集中支援チーム活動計画について

以上の(1)(2)については関連する内容のため、事務局より一括して説明を行なった。

<質疑応答>

委員：平成30年度計画の新規対象者は12件とあるが、継続は何件あるのか。

事務局：平成29年度の新規が10件中6件終了したため継続は4件であるが、4月に実施した会議にて2件が終了している。そのため、平成29年度の継続は2件である。

委員：チーム数1とあるが、今後もチーム数は1のままでよいのか検討はしているのか。

会長：実質難しい。チーム員となる認知症サポート医のなり手がいない。大和市医師会員で、開業医の先生を認知症サポート医としたいが、全国では認知症サポート医養成研修の参加希望者が多くなっている中、大和市は希望者がいない。市の協力をもらい、2年以上かけて2回に渡って計画したが、今回も希望者がいなかった。医師会員でない医師には医師会から依頼できず、また勤務医であるとその病院に定着していないので依頼できない。このような状況から、現在はサポート医が他にいないためチーム数も1以上にならない。現状、困っているわけでもないので、この計画で良いと思う。

事務局：田中先生を認知症専門医として、チーム員のメンバーは増えてきている。そのため専門医がもう1名いればチーム数を2にできるが、現状は専門医が1人であるためチーム数1ということになっている。

会長：メンバーは入れ替わり活動を行い、いろんな方に経験を積んでいただくと良いと思う。現状は症例数も多くないため、チーム数1で良いと思う。

事務局：日付を決めてチーム員会議を行っているが、今年度から緊急に対応が必要になった場合は臨時でチーム員会議を開催することになった。

会長：定例のチーム員会議で症例がない場合もある。今年度から緊急症例がある場合

は臨時で対応することになり、活動性は高まっている。

議題（１）（２）については、委員全員一致により承認とする

3) その他

・その他

- ・次回開催は、大和市認知症初期集中支援チーム検討委員会は秋頃を予定しており、決定次第通知する。
- ・議事録については、議事録案を作成し各委員に確認していただいた後に、市のホームページに掲載する。

3. 閉 会

- ・会長より閉会挨拶